

高齢発症のうつ病における自律神経機能異常と抑うつ症状の重症度および治療抵抗性  
との関係に関する研究

1. 研究の対象

2020年10月から2025年9月までにうつ病の診断で当院精神科病棟に入院された患者  
さん

2. 研究の期間

研究倫理審査委員会承認後～2027年9月30日

3. 研究目的および意義

高齢発症のうつ病は、症状が非典型的で重症度の評価が難しく、しばしば治療抵抗性を示すため、生活機能や生命予後に深刻な影響を及ぼすことがあります。過去に、一般成人のうつ病やパーキンソン病の患者さんでは、自律神経機能障害がうつ状態の重症度に関連する可能性も報告されています。

今回の研究では、高齢発症のうつ病における自律神経機能障害の重症度が、うつ病の重症化や治療抵抗性と関連しているかどうかを検証することを目的としています。

また、今回のデータをもとに、患者さんがより早期に適切な治療選択が出来るような治

療指針の作成につなげていくことが、今回の研究の意義になります。

#### 4. 研究の方法

指定の期間の入院カルテを参照し、入院時にうつ病と診断された症例を特定し、そのカルテ内容を参照して、実際の臨床経過と心理検査および画像検査、心電図検査の結果、最終的に選択された治療について調査し、結果を分析します。

#### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの年齢、性別、診断、心理検査（MMSE、HAM-D）および画像検査（脳血流SPECT、DaT-SPECT、MIBG 心筋シンチグラフィー）、心電図検査の結果、臨床症状（幻覚、パーキンソン症状、睡眠時行動異常）、最終的に選択された治療方法

#### 6. 研究組織

東京都健康長寿医療センター 精神科 松井 仁美（研究責任者）

#### 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。しかしながら、すでに研究に使用されていた場合には、結果の削除など十分なご対応ができない場合がありますことをご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

精神科 松井 仁美（研究責任者）

電話 03-3964-1141（平日 9:00～17:00）

-----以上